

# Mランド 丹波ささ山校 ニュース Vol. 36

平成 22 年 3 月 1 日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940

発行責任者 豊田文雄 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

## Mランドウォッキング

教習所のこの時期は、一年でもつともぎわいます。地元高校生の姿が見受けられるようになる十月から集中的に通つて早々に免許を取得される方、アルバイトや他の都合と並行しながら進められる方と進度はそれぞれですが、つぎの進路が決まつてくる二月三月になると誕生日などの都合でこの時期になつてしまふ方とで込み合い、それまでのんびりしていた方もあわてて教習を再開、あわただしくなつてきます。スムーズな流れをと、いろいろ対策をとっていますが、毎年その流れは違います。

免許を取られるゲストには一生に一度のことです。優先順位、スケジュール、目標を決めて進めさせていただければ練習の成果も違つてきますし、何より今、その時を楽しむことができるようになります。

練習でがんばっているゲストを励まし、スタッフ共々交流を楽しんでいただこうと定期的にイベントを行なっています。

立食形式での食事を楽しんだ後、篠山などにちなんだ○×クイズやミニコンサートなどアトラクションで盛り上がります。



「サイドギヤザー」の登場に会場は一瞬凍りつきますが、オチャラケた会話にやがて爆笑へと。「世界に一つだけの花」の曲にのせ「あるインストラクターの悲劇」シリーズで替え歌を披露。



歴史を振り返ると明治・大正期は「五穀豊穣」ということばに代表されるように農業文明の時代でした。とにかく食べることが重要で、それが工業の発達により「重厚長大」の時代へ、そして情報化社会に突入し「軽薄短小」へと変わってきました。

そして、つぎに来るのは心の時代、二十一世紀は「樂美愛眞」の時代だと思います。

## 二十一世紀は「樂美愛眞」

### 《教習理念》

#### 一、楽しくなければ

仕事ではない仕事の中に遊びがあり、遊びの中に仕事がある。

ゲストと一緒に遊ぶことで、一緒に自らなり》一時限ごとに完結する果実をつくろう。

Mランドの玄関を入ると受付横に「樂美愛眞」の書が掲げています。また所内にも同様の看板があります。

歴史を振り返ると明治・大正期は「五穀豊穣」ということばに代表されるように農業文明の時代でした。とにかく食べることが重要で、それが工業の発達により「重厚長大」の時代へ、そして情報化社会に突入し「軽薄短小」へと変わってきました。

掃除に始まり掃除に終わる（神は些事に宿る）業界一の美しい環境を作り上げよう。

二、美しくないと伝わらない「美しくなりたく候」が人の心を高めます。

三、愛がなければ生きる価値がない愛とは究極譲ること。

Mランドが誇るコアコンピタンス（地球と共に生きる心）を理解し、実践して共に育どう。

#### 四、眞実とは本物のこと

本物でないと生き残れない。

Mランドではインストラクターはじめスタッフもこのキーワードで己革新をし続け（やせ我慢も武士道の内）Mランドの舞台の上で競り合おう。

## 創立五十周年

昭和三十五年（一九六〇年）五月、ここ篠山の地に兵庫県内十四番目の自動車教習所として篠山自動車教習所（現Mランド丹波ささ山）が設立されました。

あれから五十年、高度経渃成長期やモータリゼーション、バブル崩壊といった時代の波と篠山の街が今直面している過疎化や少子高齢化といった状況の中、関わった多くの方々のご努力のおかげで今日があり、安全なドライバーの育成に寄与し、企業の使命である社会に貢献することができることに感謝申し上げます。

半世紀という節目を契機にさらに成長発展することを期し、今号からシリーズで歩みと展望を掲載します。



※五十年前のオープン当時のコースと教習風景（右遠方は王地山）

や急速な勢いで車社会は進み、道路交通に関するいろいろな問題が起き、安全に

対する取り組みが強く望まれるようになりました。

国民皆免許と言われ文

化生活にも必要欠くことのできないものと思われた時代を過ぎ、今や安全な初心運転者の育成、地域の交通安全センターとしての役割

以上に考えていかねばならない時代になつてきているようになります。

Mランドに来たらぜひ「掃除」、そして多くの方に参加していただけるようになるにはそのための環境づくりが大事です。メンバーで話し合った具体策として、まずは掃除道具がきちんと整頓されていることが誰の目にもわかるようになることであろうと、道具の収納棚を作製しました。

## 掃除の力

先の研修大会で第三班は「掃除の力」について検討し、取り組んでいます。

掃除は心を磨くことに通じると言われ、私もそのよう思います。場を清め、整えることで思わぬ達成感が得られ、そこから「物をきれいにすること」「人のために何かすること」の尊さに気づきます。

Mランドに来たらぜひ

このたび「Mランド丹波ささ山」と通称名を変更したことに対応させ、この地についてあらためて考えてみました。

VOL.1  
「田松川」

ここMランド（篠山市池上）のすぐ前の道路を挟んで流れる幅3m足らずの小川を田松川といいます。

一見何の変哲もない用水路と思つていましたが、篠山川の流れと水量を利用して水路輸送により街の活性化を図ろうと当時の区長や

## 丹波ささ山先人に学ぶ

治七年（一八七四年）に開通したものでした。

会社組織で米、薪、炭、

歴史・文化漂うこの丹波ささ山のまちに多くの先人が懸命に生き、その証を後世に伝えています。しかし、川端や小さな路地を散策したり、日本の原風景とでも言える様子を目にする

資産家らの発想により、明

茶など篠山の産物を三田まで舟を往復させて阪神間に流通させるという当時としては画期的なもので、この計画と工事を指揮した田中光義と松島 潜の頭文字をとつて名付けられたのが、この田松川です。

結果として会社は当初の意図に反し、現実に操業を始めると赤字経営から脱却できず廃業、解散に追い込まれました。水路はもっぱら灌がい用として利用され今日に至っていますが、自分たちがかれらを育んだのであらためて考えてみます。

篠山市内某所を通行中、畠仕事に精を出されているご夫婦を見かけ声をかけました。黒豆を作るのだがいいお豆さんをつくるのも土作りが肝心と早くもこの時期からの作業になつていて

このことでした。やわらかい陽ざしに額の汗が光ります。収穫への自信と期待でしようと起業家精神をもつた先人達に敬意を払うばかりで

す。（引用資料II丹波ぶらり散歩道）

## 編集後記

二月の末というのに四月下旬の暖かさで昭和二十九年以来五十五年ぶりの

下旬の暖かさで昭和二十九年以来五十五年ぶりの

茶など篠山の産物を三田まで舟を往復させて阪神間に流通させるという当時としては画期的なもので、この計画と工事を指揮した田中光義と松島 潜の頭文字をとつて名付けられたのが、この田松川です。

結果として会社は当初の意図に反し、現実に操業を始めると赤字経営から脱却できず廃業、解散に追い込まれました。水路はもっぱら灌がい用として利用され今日に至っていますが、自分たちがかれらを育んだのであらためて考えてみます。

篠山市内某所を通行中、

畠仕事に精を出されているご夫婦を見かけ声をかけました。黒豆を作るのだがいいお豆さんをつくるのも土作りが肝心と早くもこの時期からの作業になつていて

このことでした。やわらかい陽ざしに額の汗が光ります。収穫への自信と期待でしようと起業家精神をもつた先人達に敬意を払うばかりで

す。（引用資料II丹波ぶらり散歩道）

資産家らの発想により、明

茶など篠山の産物を三田まで舟を往復させて阪神間に

流通させるという当時とし

ては画期的なもので、この

計画と工事を指揮した田

中光義と松島 潜の頭文字

をとつて名付けられたのが、

この田松川です。

結果として会社は当初の

意図に反し、現実に操業を

始めると赤字経営から脱

却できず廃業、解散に追

込まれました。水路はもつ

さ山」と通称名を変更した

ことに対応させ、この地につい

てあらためて考えてみまし

た。

このたび「Mランド丹波さ

さ山」と通称名を変更した

ことに対応させ、この地につい